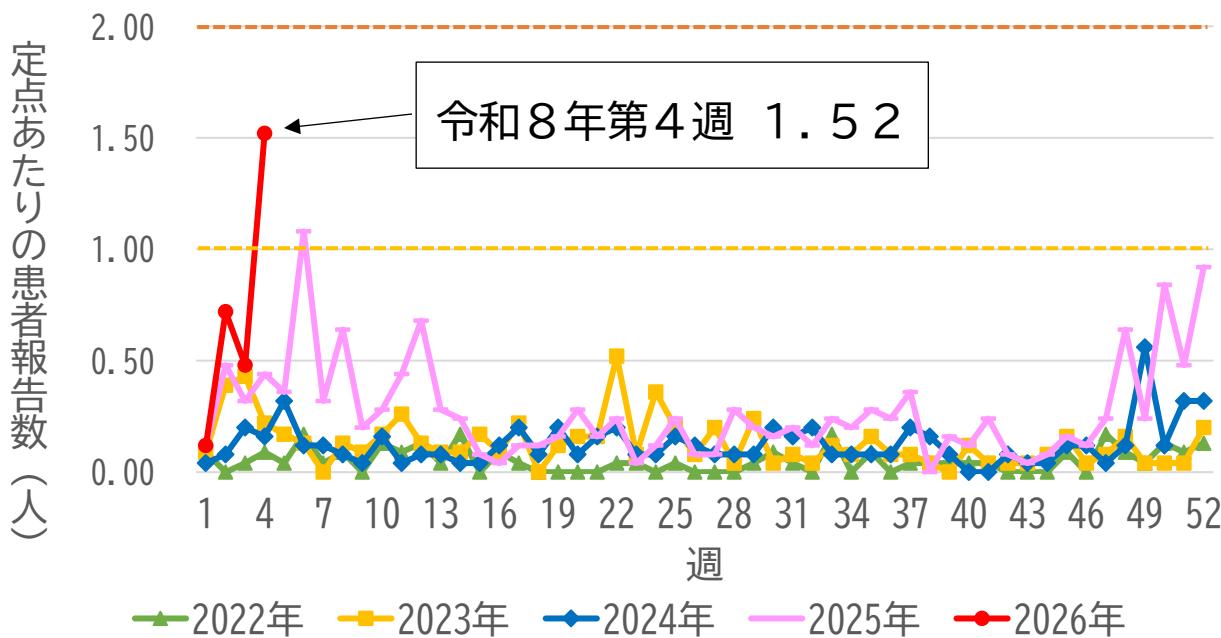


水痘(みずぼうそう)が流行しています！(注意喚起)

県内における水痘の発生状況



水痘の概要

- ・水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる、かゆみを伴う発しんが全身に出現する感染症です。
- ・感染した人のせきのしぶき(飛沫)を吸い込んだり(飛沫感染)、感染者と接触したりすること(接触感染)により感染すると言われています。家庭のほか、学校などの施設内でも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2週間程度(10日～21日)くらいとされています。
- ・水痘は主に小児の病気で、9歳以下の発症が90%以上を占めると言われています。
- ・発しんが発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発しんは紅斑(皮膚の表面が赤くなること)から始まり、水疱、膿疱(粘度のある液体が含まれる水疱)を経て痂皮化(かさぶたになること)して治癒するとされています。

水痘の予防と対策

- ・水痘ワクチンの1回の接種により、重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘を含めてその発症を予防できると言われています。
- ・家庭内接触での発症率は90%と報告されており、家庭内での感染を防ぐために水疱(水ぶくれ)に触れた後の確実な手洗いやタオルの共用を避けるといったことも重要です。